



家庭と地域が一体となった地域福祉の展開を図ります。

また、老人福祉対策として村老人クラブ助成（百七万円）や敬老会費用として二百二十三万円を計上、老人保健特別会計繰入金として二千五百万円余りを投入するなど老人福祉対策を充実します。

一方、心身障害者対策では西蒲原精神薄弱者収容施設（やひこ学園）組合負担金百七十七万円や重度心身障害児医療扶助費として一千五百六十六万円を計上、自立と参加を進めるための諸施策を引き続き講じます。

また、老人福祉対策として村老人クラブ助成（百七万円）や敬老会費用として二百二十三万円を計上、老人保健特別会計繰入金として二千五百万円余りを投入するなど老人福祉対策を充実します。

一方、心身障害者対策では西蒲原精神薄弱者収容施設（やひこ学園）組合負担金百七十七万円や重度心身障害児医療扶助費として一千五百六十六万円を計上、自立と参加を進めるための諸施策を引き続き講じます。

また、老人福祉対策として村老人クラブ助成（百七万円）や敬老会費用として二百二十三万円を計上、老人保健特別会計繰入金として二千五百万円余りを投入するなど老人福祉対策を充実します。

一方、心身障害者対策では西蒲原精神薄弱者収容施設（やひこ学園）組合負担金百七十七万円や重度心身障害児医療扶助費として一千五百六十六万円を計上、自立と参加を進めるための諸施策を引き続き講じます。

また、老人福祉対策として村老人クラブ助成（百七万円）や敬老会費用として二百二十三万円を計上、老人保健特別会計繰入金として二千五百万円余りを投入するなど老人福祉対策を充実します。

一方、心身障害者対策では西蒲原精神薄弱者収容施設（やひこ学園）組合負担金百七十七万円や重度心身障害児医療扶助費として一千五百六十六万円を計上、自立と参加を進めるための諸施策を引き続き講じます。

また、老人福祉対策として村老人クラブ助成（百七万円）や敬老会費用として二百二十三万円を計上、老人保健特別会計繰入金として二千五百万円余りを投入するなど老人福祉対策を充実します。

一方、心身障害者対策では西蒲原精神薄弱者収容施設（やひこ学園）組合負担金百七十七万円や重度心身障害児医療扶助費として一千五百六十六万円を計上、自立と参加を進めるための諸施策を引き続き講じます。

また、老人福祉対策として村老人クラブ助成（百七万円）や敬老会費用として二百二十三万円を計上、老人保健特別会計繰入金として二千五百万円余りを投入するなど老人福祉対策を充実します。

一方、心身障害者対策では西蒲原精神薄弱者収容施設（やひこ学園）組合負担金百七十七万円や重度心身障害児医療扶助費として一千五百六十六万円を計上、自立と参加を進めるための諸施策を引き続き講じます。

また、老人福祉対策として村老人クラブ助成（百七万円）や敬老会費用として二百二十三万円を計上、老人保健特別会計繰入金として二千五百万円余りを投入するなど老人福祉対策を充実します。

一方、心身障害者対策では西蒲原精神薄弱者収容施設（やひこ学園）組合負担金百七十七万円や重度心身障害児医療扶助費として一千五百六十六万円を計上、自立と参加を進めるための諸施策を引き続き講じます。

また、老人福祉対策として村老人クラブ助成（百七万円）や敬老会費用として二百二十三万円を計上、老人保健特別会計繰入金として二千五百万円余りを投入するなど老人福祉対策を充実します。

一方、心身障害者対策では西蒲原精神薄弱者収容施設（やひこ学園）組合負担金百七十七万円や重度心身障害児医療扶助費として一千五百六十六万円を計上、自立と参加を進めるための諸施策を引き続き講じます。

また、老人福祉対策として村老人クラブ助成（百七万円）や敬老会費用として二百二十三万円を計上、老人保健特別会計繰入金として二千五百万円余りを投入するなど老人福祉対策を充実します。

一方、心身障害者対策では西蒲原精神薄弱者収容施設（やひこ学園）組合負担金百七十七万円や重度心身障害児医療扶助費として一千五百六十六万円を計上、自立と参加を進めるための諸施策を引き続き講じます。

また、老人福祉対策として村老人クラブ助成（百七万円）や敬老会費用として二百二十三万円を計上、老人保健特別会計繰入金として二千五百万円余りを投入するなど老人福祉対策を充実します。

一方、心身障害者対策では西蒲原精神薄弱者収容施設（やひこ学園）組合負担金百七十七万円や重度心身障害児医療扶助費として一千五百六十六万円を計上、自立と参加を進めるための諸施策を引き続き講じます。

また、老人福祉対策として村老人クラブ助成（百七万円）や敬老会費用として二百二十三万円を計上、老人保健特別会計繰入金として二千五百万円余りを投入するなど老人福祉対策を充実します。

一方、心身障害者対策では西蒲原精神薄弱者収容施設（やひこ学園）組合負担金百七十七万円や重度心身障害児医療扶助費として一千五百六十六万円を計上、自立と参加を進めるための諸施策を引き続き講じます。

また、老人福祉対策として村老人クラブ助成（百七万円）や敬老会費用として二百二十三万円を計上、老人保健特別会計繰入金として二千五百万円余りを投入するなど老人福祉対策を充実します。

一方、心身障害者対策では西蒲原精神薄弱者収容施設（やひこ学園）組合負担金百七十七万円や重度心身障害児医療扶助費として一千五百六十六万円を計上、自立と参加を進めるための諸施策を引き続き講じます。

また、老人福祉対策として村老人クラブ助成（百七万円）や敬老会費用として二百二十三万円を計上、老人保健特別会計繰入金として二千五百万円余りを投入するなど老人福祉対策を充実します。

一方、心身障害者対策では西蒲原精神薄弱者収容施設（やひこ学園）組合負担金百七十七万円や重度心身障害児医療扶助費として一千五百六十六万円を計上、自立と参加を進めるための諸施策を引き続き講じます。

## 健康で心ふれあう福祉社会の形成

### 社会福祉の推進

社会福祉の推進では、福祉サービスに対する村民のニーズは多様化し、かつ増大していることから、きめ細かい施策を実施することにより、健康で活力のある福祉社会の実現に努めます。このため、社会福祉協議会への助成をはじめ、家庭奉仕員派遣事業については、昨年臨時職員一人を増員して対応してきましたが、今年も引き続き二人を配置し在宅福祉対策等を充実します。

### 健康づくりと住民サービスの向上

村民の保健医療については、健康増進から疾病の予防、治療、リハビリテーションまでの一貫

性のある施策の展開が望まれていることから、地域に密着した健康づくりの推進を図ります。

生涯を通じた健康づくり対策としては、「健康づくり教室」の日常生活への一層の定着を図るため、ライフステージに応じた「健康生活運動」を進め、総合検診をはじめ、肺がん、胃がん、子宮がん、糖尿病検診などきめ細かに推進します。

また乳幼児の健康保持と増進を図るため、すこやか教室や六か月、一歳六か月、三歳児健診などを実施するとともに歯科保健対策もきめ細かに推進します。

さらに毎年好評の人間ドック検診の受診助成（百五十人分二百十八万円）を引き続き実施するなど成人病予防対策も強化します。

生活環境面では、複雑多様化するゴミ収集に対処するため、昨年まで分けて収集していた廃プラスチック類の減容施設を巻町の福井処分場内に整備（工事費約九千五百万円）し、処分場の埋め立て目標年次を昭和六十八年から七十八年へ十年間延長する計画です。また巻町、岩室

性のある施策の展開が望まれていることから、地域に密着した健康づくりの推進を図ります。

生涯を通じた健康づくり対策としては、「健康づくり教室」の日常生活への一層の定着を図るため、ライフステージに応じた「健康生活運動」を進め、総合検診をはじめ、肺がん、胃がん、子宮がん、糖尿病検診などきめ細かに推進します。

また乳幼児の健康保持と増進を図るため、すこやか教室や六か月、一歳六か月、三歳児健診などを実施するとともに歯科保健対策もきめ細かに推進します。

さらに毎年好評の人間ドック検診の受診助成（百五十人分二百十八万円）を引き続き実施するなど成人病予防対策も強化します。

生活環境面では、複雑多様化するゴミ収集に対処するため、昨年まで分けて収集していた廃プラスチック類の減容施設を巻町の福井処分場内に整備（工事費約九千五百万円）し、処分場の埋め立て目標年次を昭和六十八年から七十八年へ十年間延長する計画です。また巻町、岩室

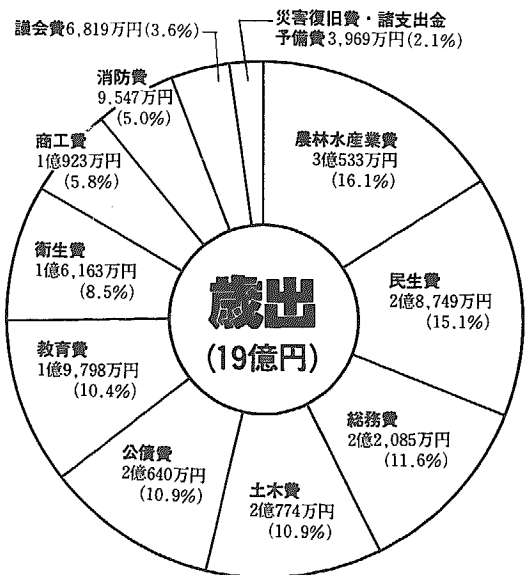
性のある施策の展開が望まれていることから、地域に密着した健康づくりの推進を図ります。

生涯を通じた健康づくり対策としては、「健康づくり教室」の日常生活への一層の定着を図るため、ライフステージに応じた「健康生活運動」を進め、総合検診をはじめ、肺がん、胃がん、子宮がん、糖尿病検診などきめ細かに推進します。

また乳幼児の健康保持と増進を図るため、すこやか教室や六か月、一歳六か月、三歳児健診などを実施するとともに歯科保健対策もきめ細かに推進します。

さらに毎年好評の人間ドック検診の受診助成（百五十人分二百十八万円）を引き続き実施するなど成人病予防対策も強化します。

生活環境面では、複雑多様化するゴミ収集に対処するため、昨年まで分けて収集していた廃プラスチック類の減容施設を巻町の福井処分場内に整備（工事費約九千五百万円）し、処分場の埋め立て目標年次を昭和六十八年から七十八年へ十年間延長する計画です。また巻町、岩室



個性豊かなまちづくりを目指して

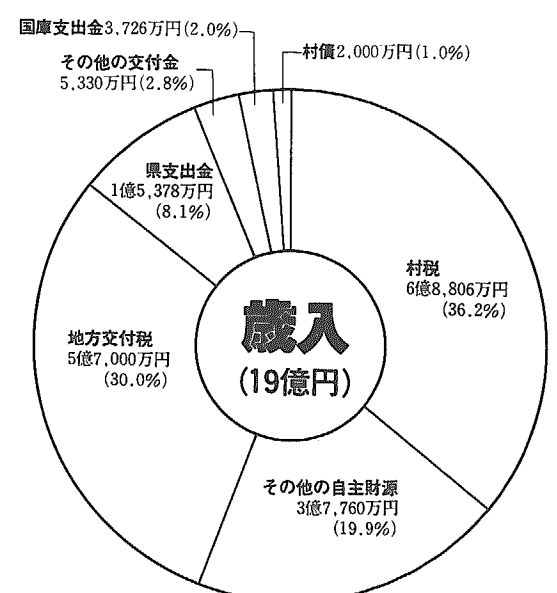


# 魅力ある村づくりを

## 昭和62年度予算

昭和62年度一般会計予算は19億円

- 【村政推進の基本】
- 健康で心ふれあう福祉社会の形成
  - 教育の充実と文化・スポーツ活動の振興
  - 高生産農業の展開と林業・水産業の振興
  - 商工業と観光の振興
  - 暮らしと産業を支える基盤づくり



村の家計簿ともいえる昭和62年度一般会計当初予算をご紹介します。

予算総額は19億円。61年度に比べ1億200万円の減ですが、新規事業の和納保育園建設工事費を除くと8.3%の伸びです。

歳入（収入）のグラフに見るように自主財源が乏しく、国・県のお金に頼る率が高い構成です。このため、行政改革を強力に推進し、使用料、手数料などの行政全般にわたる見直しを行い、歳入の確保、歳出（支出）の抑制を図ることにより健全財政の確保に努めていきます。

では限られた財源を有効に使うため、どんな工夫をしたでしょうか。

予算の編成にあたっては、魅力ある村づくりへの基盤整備と多様な行政需要に対処するため、真に必要な部門への財源の重点的、効果的配分を行い、可能な限り村民サービスの確保に留意しながら、村勢の着実な前進を期して編成しました。もちろん、村民のみならず必要とされる分野には積極的に限り組んだ予算です。

以下、昭和62年度の村政の概要をご紹介します。